

講演抄録

口は命の入り口、心の出口と言われます。口から栄養を摂り、生命活動を維持させます。また自分の気持ちを伝え、コミュニケーションを可能にします。その口の健康を守るのが歯科です。私も歯科の端くれとして、口の健康を守ると同時に、“食べる”を守る事にも力を入れています。例えば、摂食嚥下機能が低下し、食事が思う様に取れない在宅患者さんに対して、多職種で“食べる”を支えるための連携作りとして、「食べる輪」を立ち上げました。他にも、突然、身内の介護を余儀なくされた男性は、孤軍奮闘しながら介護をするケースが多々あります。そのストレスの多くが経験の少ない1日3食の食事作りや、食事介助です。そこで、“食べる”に重点を置き、男性が集える場として、「男の介護教室」を立ち上げました。

今回貴重な機会をいただきましたので、それらの取り組みについてお話をさせていただきます。

現職

石巻市雄勝歯科診療所 所長、石巻障がい児・者歯科診療所 指導医、松本歯科大学 非常勤講師
日本コンピューター学園 東北保健医療専門学校 非常勤講師

略歴

2003年 松本歯科大学卒業、2003年 松本歯科大学 障害者歯科学講座 入局、2010年 松本歯科大学 大学院卒業 学位取得、2012年 松本歯科大学 障害者歯科学講座 講師 退職、2012年 石巻市雄勝歯科診療所 所長、2012年 松本歯科大学 非常勤講師、2017年 石巻障がい児・者歯科診療所 指導医（兼任）、2021年 日本コンピューター学園 東北保健医療専門学校 非常勤講師

役職

日本障害者歯科学会 代議員、大規模災害支援委員会 副委員長、地域医療推進委員会 委員、日本障害者歯科学会 指導医 専門医 認定医、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 認定士、歯科臨床研修医 指導医、宮城県保険医協会 理事、石巻圏摂食嚥下研究会 会長、男の介護教室 代表、雄勝里山プロジェクト 名誉会長

主な講演・執筆活動

- ・【動画】MED ぐんま 2019 河瀬 聡一郎、<https://medjapan.org/life/kawaseoichiro2019gunma/>
- ・NHK おはよう日本 「口の機能低下から全身に広がるフレイル」 2019. 12.
- ・コムネット会員情報誌「Together」 「復光」と歯科の夜明け、男性介護者への熱いエール
- ・脇本仁奈、松尾浩一郎、河瀬聡一郎、隅田佐知、植松紳一郎、藤井 航、馬場 尊、小笠原 正：頸部回旋の角度変化が咀嚼中の食塊通過経路に及ぼす影響、老年歯学 25(1)、2011
- ・“食べる”と“笑う”を支える摂食嚥下の専門家に学ぶ1日 いいご近所づくり大会議 2018～東京都千代田区永田町 河瀬聡一郎、戸原玄（歯科医）、若林秀隆（医師：リハ栄養）
- ・最期まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会 ～ごちゃまぜ社会でつくる未来～ 東京都新宿区 2019.9.1
- ・男の介護教室&男性介護者と支援者の全国ネットワーク 第3回 東北大会「男技」 2018
- ・歯界展望「災害時の経験を活かすためには」 中久木康一、河瀬聡一郎ら 2019. 1 医歯薬出版
- ・栄養と料理「食と健康の仕事人」 2021. 9 女子栄養大学の月刊誌
- ・ライブドアブログ「雄勝歯科診療所 河瀬聡一郎の紹介」松本大災害支援隊長としての体験 2013. 5.
- ・京都市中京区在宅医療・介護連携支援センター主催「災害から身を守り教訓を未来へつなげる ～命を守る 口腔ケア～」 2020.2
- ・TEAM 防災ジャパン「リレー寄稿 地域防災の担い手」
- ・Dentalism（デンタリズム）「東日本大震災を機に、被災地での歯科に取り組む医師が語る地域医療の未来とは」 2021.3.25
- ・石巻圏摂食嚥下研究会「食べる輪」presents 食べる喜び いつまでも 2020.9.29
- ・新聞クイントオンライン 2020年1月号掲載
- ・「東日本大震災12年 診療続ける石巻で 松本歯科大学元講師 河瀬さん」信濃毎日新聞 2023. 3. 1→
- ・沖縄県歯講演会「災害に備えた障がい者のある方への医療～東日本大震災の被災地の歯科医からの提言」 2023.2.25
- ・くちビルディング選手権（旧名 オーラルオリンピックゲームス [オラリンピック]）・・・活動休止中
- ・石巻市社会福祉協議会 HP「3年ぶり、「雄勝地区 男の介護教室」開催!!【雄勝支所】」 2022. 6 ↓

